


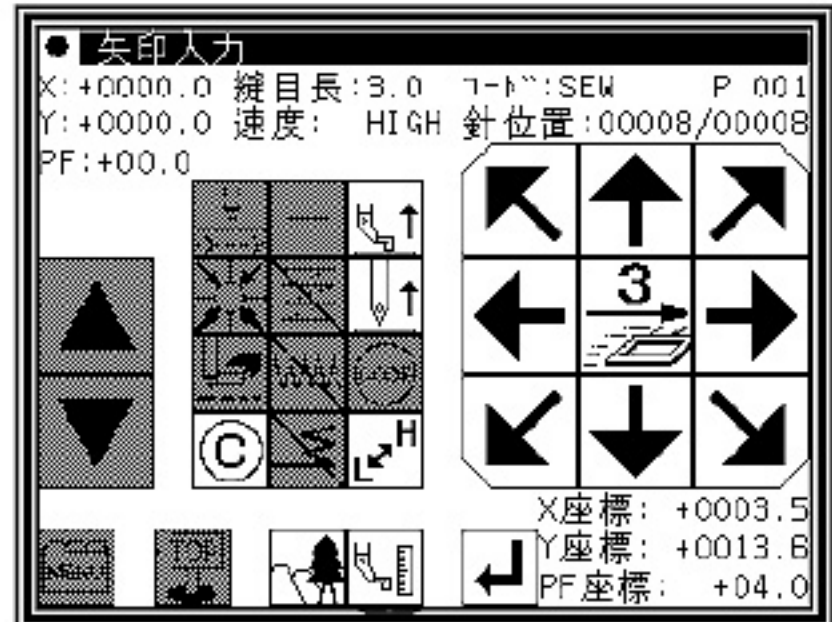
縫製物の段差入力

縫製途中で縫製物の段差に合わせて中押えの高さを変化させるようにデータを作成できます。
 (縫製物の状況に応じて中押えの高さを変化させることで目飛び防止や糸切れ防止に効果があります。)




縫製データ作成について説明します。修正モードでの縫製物の段差入力については、P.[11]-43を参照してください。

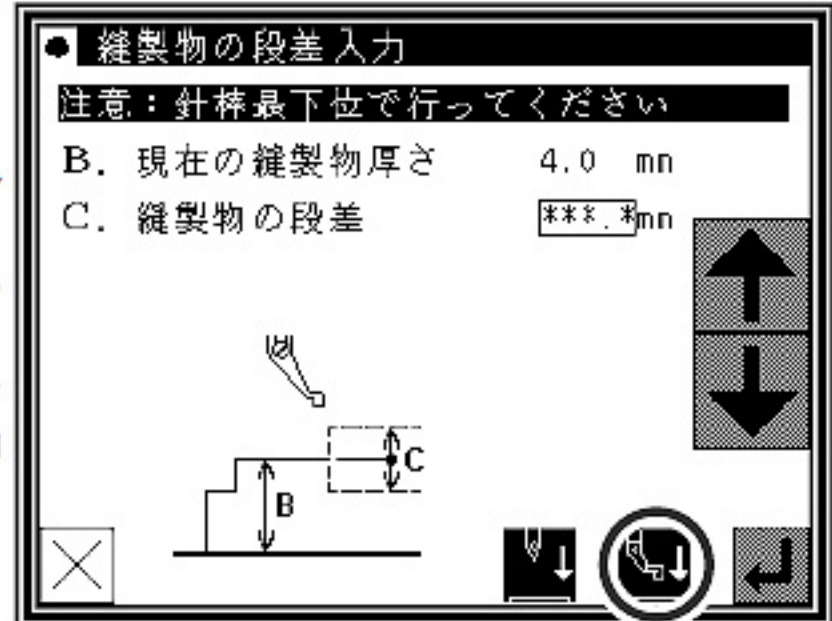
(1)縫製データ作成途中、中押えの高さを変化させたい場所で以下の操作を行います。

▶ を押します。



(2)縫製物の段差入力

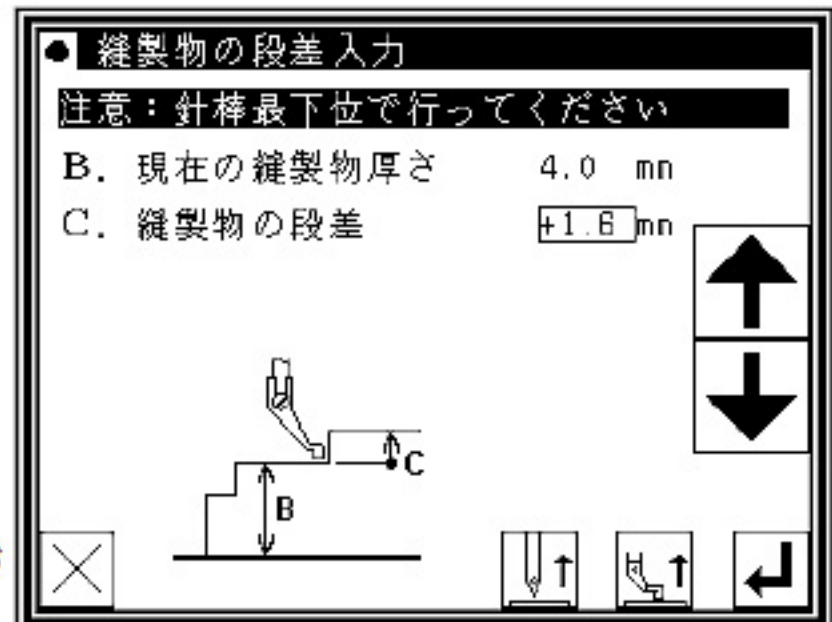
▶ を押して中押えを下降させます。次にプーリをまわして針棒を最下位にします。(を押して、針棒最下位になる設定の場合は を押して針棒最下位にします。) これで縫製物の段差を入力できるようになります。(上下矢印アイコンを押せる状態になります。)



▶ 上下矢印アイコンを押して縫製物の段差を指定します。(ここでは、中押えを「1.6mm」上げます。)

▶ 数値指定後 を押します。

※縫製物の段差入力は、針棒と中押えの接触などを考慮しながら行ってください。



(3)続きのデータ作成操作

▶ 中押え高さを変化させたい場合に、(1)~(2)を繰り返す。

